



紀の川市青少年センターだより

令和6年10月発行【No.187】

育み学ぶ元気なまち～ともに育み生涯学ぼう～
『地域社会全体で青少年を見守り育てる』

紀の川市青少年センター
〒640-0412 紀の川市貴志川町上野山256
TEL 0736-64-9888 FAX 0736-64-9889

ことのほか残暑の厳しい日が多かった9月でしたが、朝晩は少し涼しくなり秋の気配が感じられ、爽やかな秋空が美しい季節となりました。この秋には、小学校では運動会、中学校では修学旅行などの行事があります。他にも文化的な行事や体育的行事もこれから多く行われ、子ども達にとっては、学習にスポーツに充実した時期を迎えます。この秋が実り多い秋になりますように、それぞれの機会で大いに頑張ってもらいたいと思います。



市内各中学校への夏季休業後の学校訪問

青少年センターでは9月に『夏季休業後の学校訪問』として、市内の各中学校を早朝より訪問させていただきました。登校時刻まで校区内をパトロールしてから学校に入り、校門付近で挨拶運動をしました。登校してくる生徒達に「おはよう」と挨拶をしながら出迎えると、生徒達も明るく気持ちのよい挨拶を返してくれたので、爽やかな朝のひとつときを過ごすことができました。その後、校長先生から夏休みから新学期にかけての様子を聞かせてもらいました。学期始まりの忙しい時に対応してくださった先生方、ありがとうございました。

各校の訪問日

9月4日(水) 粉河中学校
9月6日(金) 貴志川中学校
9月9日(月) 荒川中学校
9月13日(金) 打田中学校
9月18日(水) 那賀中学校



貴志川中学校



荒川中学校



粉河中学校

第2回県青少年センター連絡協議会 センター長・理事会議 9月18日(水)

和歌山市北コミュニティセンターにおいて、県内に21設置されている青少年センターの代表と3部会(行政職員・教育職員・警察職員)の部会長と県関係部局の職員が一堂に会して上記の会が開催されました。来年度の県青少年センター連絡協議会研修大会開催についての協議や各センターの補導委員会の活動状況について交流をしました。県学校教育局より、文部科学省から「学校のFAXの見直し」についての通達があり、業務の効率化からFAXが廃止の方向になるという報告がありました。

打田中学校仙溪分校 情報モラル教室 9月12日(木)

打田中学校仙溪分校で情報モラル教室を実施しました。事前の打ち合わせで、総務省のインターネットトラブル事例集(2024年版)の全21事例の中から4事例を選んで、パワーポイント資料を作成し、生徒は配布したワークシートに記入しながら、それぞれの事例で「何がトラブルの原因だったのか?」と「トラブルを防ぐために、できることは?」を考えながらの授業でした。分校の先生方も多数授業のお手伝いをしていただいたおかげで、一人一人しっかり考えてくれました。



令和6年度紀の川市青少年健全育成推進協議会

紀の川市青少年補導委員会合同研修会 令和6年9月12日(木)

9月12日(木)午後7時から打田生涯学習センター視聴覚室において、「令和6年度紀の川市青少年健全育成推進協議会・紀の川市青少年補導委員会合同研修会」を開催しました。

紀の川市福祉部子ども課児童相談班の班長山中善之氏と保健師亀位真由子氏より、「紀の川市内のこどもの現状」と題した講演をいただきました。井尻会長、貴志教育長をはじめ72名の参加のもと日頃から子ども達と接している推進委員・補導委員や学校関係者にとって有意義な研修となりました。



【講演の概要】

亀位氏がお母さん役に山中氏が子ども役になり「しつけ」と「体罰」の違いについて参加者に問うことから講演が始まりました。(多くの虐待の実態は体罰であり、虐待と体罰を区別することはできません。どのような暴力も一切認められません。)

山中氏からは、児童虐待の定義や紀の川市の相談支援の現状などについての話がありました。

亀位氏からは、虐待の発見から対応までの3つのケースについて、具体的な虐待の様子を聞かせていただきました。亀位氏からは、「近所の方や先生方など周りの方が気にかけてくれたからこそ発見から対応ができました。」という話がありました。

最後に、山中氏から子どもを虐待から守る情報提供や相談のための「対応ダイヤル189」の紹介と居場所づくりなどをはじめとする紀の川市の取組が紹介され、日頃の挨拶や声かけの大切さを伝えてくれました。

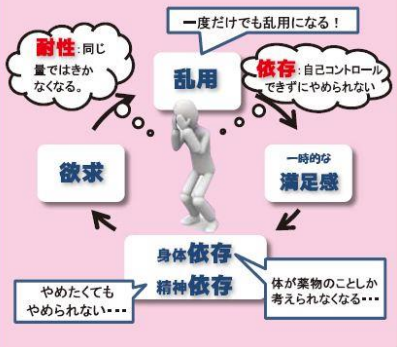


和歌山県麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動 10月1日(火)～11月30日(土)

本運動は、薬物乱用を未然に防止するために、関係機関や団体が緊密に連携し、薬物乱用による危害を広く県民に周知し、県民一人一人の認識を高めることによって、薬物乱用の根絶を図ることを目的としています。近年では、国内の大麻事犯検挙人員が過去最高を更新し、特に30歳未満の大麻事犯検挙人員は大麻事犯全体の7割を占める深刻な事態になっています。

薬物乱用の最大の怖さ

一回だけと悪って始めた人も**依存**と**耐性**により使用する量や回数がどんどん増えていき、どうしようもない悪循環に陥ります。



和歌山県・和歌山県警察 和歌山県薬物乱用対策推進本部 和歌山県薬物乱用防止指導員協議会が発行している薬物乱用防止パフレットのの一部を掲載しました。

インターネット上の誤った情報に注意を!

大麻は安全、無害だ!

大麻はたばこよりも害が少ない。

大麻取締法などで**禁止**されています!!

- ◆所持・譲渡・譲受 5年以下の懲役
- ◆輸入・輸出・栽培 7年以下の懲役

断るコツ

ハッキリ・キッパリ断りましょう!

薬物の誘いは**全部ウソ**です!!

1回だけなら平気さやせられるよ
みんなやってるよ
眠気がとれて、勉強ができるよ
イライラがとれるよ

NO

《不審者情報》

発生日時	発生場所	事象内容	不審者の特徴
9月1日(日) 14時頃	桃山地区	女子中学生2人がドラッグストアの店内で20歳後半くらいの男性につきまとい、店を出た時に「粉河駅はどこ」と声をかけられ、男性がトイレに行った隙に自転車でその場を離れた。	古い赤いTシャツ 黒のスキニージーンズ 160cm程髪を立てている
9月3日(火) 15時30分頃	貴志川地区	西貴志コミセン前の信号で、下校途中の男子児童2人が横断歩道を渡っている際に、信号待ちで停車している車の視線が気になって振り返ったところ、助手席の女性に写真を撮られた。その後、女性は慌ててカメラを隠した様子であった。	男性が運転する車は、茶色の軽自動車 女性は、40歳くらい
9月5日(木) 7時30分頃	貴志川地区	2,3日前から貴志駅付近で集団登校している児童が、日傘をさして歩いている男性から「ちゃんと歩けよ」と声をかけられていたが、この日は、学校までついて来られて、「ちんたらすんな」と怒鳴られた。児童たちは学校に逃げたので被害は無かった。	白色の少し長めのシャツ 黒のズボンかスパッツ 150～160cmくらいで肩より長めの髪